

皆様、おはようございます。

いよいよ7月も最後の日となりました。セミが元気よく鳴いています。前編と後編とに梅雨が二つに分かれてぶり返したようなこの頃でしたが、ついに夏本番となりました。

庄原市のコロナ感染者も、昨日は28人とのことです。皆さまどうぞ引き続きお気をつけください。神様の豊かなお守りを互いにお祈りしてまいりましょう。

先週はスミルナの教会へのイエス様からのお手紙でした。

「わたしは、あなたの苦難や、貧しさを知っている」「ユダヤ人と自称してはいるが、その実ユダヤ人でなくてサタンの会堂に属する者たちにそしられていることも、わたしは知っている。」との主のお優しきお言葉でした。

教会とキリスト者ともに容赦なく襲い掛かる迫害を、主はつぶさに見ておられました。主の弟子たちの苦しみを、手に取るように主は知っておられました。

「あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔が、あなたがたのうちの者をつぶすために、獄に入れようとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあうであろう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。」

死に至るまで忠実であれ。わたしは初めであり、終りである者、死んだことはあるが生き返った者だから。

サタンの、獐猛なる悪魔の嵐の吹き渡る、困難な状況であっても、あなたの受けようとする苦しみを恐れるな。獄に入れられ、苦難の十日間を過ごすとも、永遠に続く苦難のように思われても、恐れるな。死に至るまで忠実であれ。わたしはあなたの苦しみを知っている。あなたは決して貧しい者ではない。富んでいるのだと主は語りかけて下さいました。

そして今日は第3の教会、ペルガモに宛てた主の手紙です。

12 ペルガモにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『鋭いもろ刃のつるぎを持っているかたが、次のように言われる。

13 わたしはあなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの座がある。

鋭いもろ刃のつるぎ、それは主の口から出た神の言葉です。

ヘブル 4:12 というのは、神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髓とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。

鋭いもろ刃の剣と聞きますと、これは神様が私たちの悪を見抜いて裁くための剣という風に思いますが、これはヘブル書の御言葉のように、外科医が持つメスのように、私たちを病気から救い出す神様の恵みの手段です。エペソ書にはこう書いてあります。

6:10 最後に言う。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。

6:11 悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。

6:12 わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。6:13 それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。

6:14 すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当を胸につけ、

6:15 平和の福音の備えを足にはき、

6:16 その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。

6:17 また、救のかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。

先週、今週の御言葉の個所にはサタン、悪魔という言葉がよく出てきます。聖書には、悪魔の存在がはっきりと書かれています。

1 ペテロ 5:8 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。

5:9 この悪魔にむかい、信仰にかたく立って、抵抗しなさい。あなたがたのよく知っているとおり、全世界にいるあなたがたの兄弟たちも、同じような苦しみの数々に会っているのである。

ヤコブ 4:7 そういうわけだから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ちむかいなさい。そうすれば、彼はあなたがたから逃げ去るであろう。

神の武具を身につけなさい。真理の帯、正義の胸当、平和の福音の備えを足にはき、信仰の盾(それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう)、救のかぶと、そして御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。

神の言葉は神の武具の最後に登場する強力な武具、私たちに日の矢を放ってくる悪しき者に対する、私たちを守る強力な武具です。

12 ペルガモにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『鋭いもろ刃のつるぎを持っているかたが、次のように言われる。

13 わたしはあなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの座がある。

ペルガモは偶像礼拝の場であり、皇帝崇拝の中心地でした。

蛇のしるしをもった、アスクレピオスは癒しの神としてあがめられていました。蛇は日本で

も金運の象徴として商業の守り神のようにも見受けられますが、聖書によればサタン、悪魔の象徴です。

このような「サタンの座」にあって、迫害の中奮闘するキリスト者たちを見て、「わたしはあなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの座がある。」と主は語られます。

ローマ 12:2 あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。

ヨハネ 15:18 もしこの世があなたがたを憎むならば、あなたがたよりも先にわたしを憎んだことを、知っておくがよい。

15:19 もしあなたがたがこの世から出たものであったなら、この世は、あなたがたを自分のものとして愛したであろう。しかし、あなたがたはこの世のものではない。かえって、わたしがあなたがたをこの世から選び出したのである。だから、この世はあなたがたを憎むのである。

マタイ 16:21 この時から、イエス・キリストは、自分が必ずエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえるべきことを、弟子たちに示しはじめられた。

16:22 すると、ペテロはイエスをわきへ引き寄せて、いさめはじめ、「主よ、とんでもないことです。そんなことがあるはずはございません」と言った。

16:23 イエスは振り向いて、ペテロに言われた、「サタンよ、引きさがれ。わたしの邪魔をする者だ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている」。

16:24 それからイエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

16:25 自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。

16:26 たとい人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。

サタンは私たちを苦しめ、欺き、私たちの失敗を誘います。その迫害と試練と葛藤の中私たちは苦しみます。しかし私たちがこの世界の中にあって、そのようなサタンの座にあって、本当に神ではない者に引かれゆくこの世界の中にあって、迫害に耐えるキリスト者を主は見て、知っておられるのです。

13 あなたは、わたしの名を堅く持ちつづけ、わたしの忠実な証人アンテパスがサタンの住

んでいるあなたがたの所で殺された時でさえ、わたしに対する信仰を捨てなかった。

私の忠実な、私の証人アンテパスがサタンの住んでいるあなた方の所で殺された時でさえ、私に対する信仰を捨てなかった。あなたは私の名を堅く持ち続けた。

父なる神様は、愛するひとり子イエス・キリストのいのちをもってさえ、その命をすら犠牲にして私たちを罪と死と呪いから、滅びから救い、命と祝福と救いの中に入れてくださいました。

初めであり、終りである者、死んだことはあるが生き返った方は、私に信頼しなさいと語られます。

わたしに対する信仰を捨てず、私の名を堅く持ち続けなさい。どんな困難の中でもひるまず、揺るがずに信じ続けなさい。それがいのちの道であると主は語られます。父なる神様を信じて人の罪のために十字架につき、昼でありながら暗闇の覆う中、神の怒りを受けて刑罰のうちに死ぬべき身、父なる神との断絶の深い悲しみと痛みを覚えながら父なる神様の御心に従い通し、死に至るまで忠実であられた私たちの主は、三日目に引き上げられ、死から復活され、栄光をお受けになられました。私たちもその主の身代わりの十字架と呪いと死と復活の証人として進んでいきたいと願います。

2:14 しかし、あなたに対して責むべきことが、少しばかりある。あなたがたの中には、現にバラムの教を奉じている者がある。バラムは、バラクに教え込み、イスラエルの子らの前に、つまずきになるものを置かせて、偶像にささげたものを食べさせ、また不品行をさせたのである。

2:15 同じように、あなたがたの中には、ニコライ宗の教を奉じている者もいる。

2:16 だから、悔い改めなさい。そうしないと、わたしはすぐあなたのところに行き、わたしの口のつるぎをもって彼らと戦おう。

バラムは偽預言者でしたが、主なる神様からのお言いつけのとおり預言し、モアブの王バラクの言いなりにはなりません。しかしイスラエルに対して呪いを祈ることは出来ませんでした。イスラエルがモアブの女性との関係を持つようになって混合主義がはびこり、結局イスラエルが裁きを受けるようになるつまずきを与えた、そういうバラムの教え(民数記22-25章)を奉じて、偶像にささげたものを食べさせ、また不品行をさせている者がある、またそれに類したニコライ宗の教を奉じているものがあるとイエス様は語られました。

困難な迫害の中に必死に耐えながらも、あの手この手と手を変え品を変え、近づいてくるものがある。いかにも敬虔で、信仰深く、大切なものとして近づいてくるあまたの考えがあり、

一つ一つに対して慎重に対しなさい、油断して受け入れてしまうのならば、足元を見事に掬われるような危険があるから、悔い改めなさい。私の名前をしっかりと持っていたのに、その握りしめている同じ手で、同じ心で、バラムの教えやニコライ宗の教えをしっかりと握ろうとする、そういう人の弱い心をしっかりとわきまえて、気づきを頂いた時には悔い改めて、心を入れ替えて、向きを変えて人生の行路を変えて出発しなさいと主は語られます。

そうしないと、「わたしはすぐにあなたのところに行き、わたしの口のつぎぎをもって彼らと戦おう」と語られます。これは主の外科手術です。鋭き刃物でこの身を心をえぐられるという事は痛々しいことですが、しかしそれは主の癒しの業であることを心に刻みたいと思えます。手遅れになり、死に至る前に、すぐにあなたの所に行き、罪ある者と戦い、語り、癒し、悔い改めさせる主のお働きを思えます。

2:17 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利を得る者には、隠されているマナを与えよう。また、白い石を与えよう。この石の上には、これを受ける者のほかだれも知らない新しい名が書いてある』。

マナ、それは荒れ野の民に対する主の命の養いです。隠されているマナとは、壺の中に入れて、契約の箱に入れられていたマナだという話もありますが、イエス様はご自分がいのちのパンであると語られました。

ヨハネ 6:32 そこでイエスは彼らに言われた、「よくよく言うておく。天からのパンをあなたがたに与えたのは、モーセではない。天からのまことのパンをあなたがたに与えるのは、わたしの父なのである。

6:33 神のパンは、天から下ってきて、この世に命を与えるものである」。

6:34 彼らはイエスに言った、「主よ、そのパンをいつもわたしたちに下さい」。

6:35 イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。

「天から下ってきて、この世に命を与える」命のパン、それは十字架に死に、私たちのために贖いをなされたイエス様そのものです。その隠された神の救いの奥義であるイエス様により、マナ、命のパンが与えられました。白い石。輝くような美しい石。白い石はある宴席への入場証、パスポートのように使われたという話があります。その石には私たちを見事に言い表す、新しい名前が記されてあります。イエス様がシモンに、岩という名前であるペテロと名付けて下さったように、主はどんな苦難の時にも私たちを知っておられ、私たちの苦痛と叫びと忍耐とをご存じで、その苦難の荒れ野で命のパンを与え、光り輝く石、天国へのパスポートを与え、天ではねぎらいのお言葉と共に私たちを新しい愛称で呼んでくださる。そのような幸いあふれる主の前での時に至るまで、私たちはまた心を入れ替えながら、心の

向きをいつも主に向けて向かいなおして、太陽を向いて顔を向けていくひまわりのように輝かせていただきたいと願います。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。至る所に迫害の嵐吹き荒れるキリスト教会を取り巻く環境でしたが、神様はその困難と、その中でキリストの復活の信仰を信じる者たちをじっと見ておられることをありがとうございます。私たちに日ごとのいのちのパンをイエス様により与え、新たな力を得て生き生きと進めるようにして下さい、ありがとうございます。子供からお年寄りまで、あらゆる年齢の方々が、この時こそ教会にて、イエス・キリストに出会うことができますようにお願いいたします。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン